

上映会
&
トーク

いま
知ってほしい 現在につながる過去を
語り合おう いのちの重みを



夜明け前のうた
消された沖縄の障害者

あなたが生きた証

歌が伝えるのは

歌の記憶

隔離の闇を照らす

監督・撮影・編集: 原 義和 制作: 高橋年男 山田圭吾 糸洲のぶ子 ナレーション: 宮城さつき 音楽: 白川ミナ 創作舞踊: Danzakarā.
製作協力: 沖縄県障害者福祉協会 沖縄 YWCA 製作: 障害者映画文化研究所 イメージ・ナラティブ プロデューサー: 中橋真紀人 配給: 新日本映画社 (2023/日本/DCP/カラー/5.1ch/72P) ©2023 原 義和

1960年代の沖縄 障害者が隔離された現場の写真
入手したジャーナリストが明らかにする日本国家の罪

●主催・お問合せ●公益財団法人東京 YWCA 平和と人権事業部
東京都千代田区神田駿河台 1-8-11 東京 YWCA 会館
E-mail: musashino@tokyo.ywca.or.jp
武蔵野センター Tel.0422-27-5871 / 当日連絡先: 03-3293-5456



日時 2023 年

10/14
(土)

参加費 一般

1000 円

学生

500 円

13 時の回

13:10 上映会

15:00 上映後トーク

18 時の回

18:00 上映会

19:50 上映後トーク

会場: 東京 YWCA 会館

定員各回 100 名 / 開場 30 分前

■上映後トーク■

平良愛香さん *13 時の回のみ

(平和を実現するキリスト者

平和ネット 事務局代表)

糸洲のぶ子さん (沖縄 YWCA)

監督: 原義和さん

■申込方法■

こちらの QR コードからお申し込みください



<https://www.tokyo.ywca.or.jp/peace/nonviolence/news/2023/07/001389.html>

犠牲の歴史と向き合うこと
 孤独と絶望に思いをめぐらせること
 傷つけられた尊厳の回復を祈ること
 死者の歌に耳を傾けること
 消された名前を刻むこと



知られざる沖縄の犠牲

「一部の犠牲はやむを得ない」…これは日本国家の根幹にあり続けている考え方です。戦後、サンフランシスコ条約によって沖縄を日本から切り離したことは、その象徴と言えるかもしれません。その後の米軍基地の沖縄への集中も同じです。その考えは、地域社会においても、日本の隅々まで買われてきました。

私宅監置…1900年制定の法律に基づき、精神障害者を小屋などに隔離した、かつての制度です。精神障害者を犠牲にし、地域社会の安寧を保とうとしてきたのが、日本です。1950年に日本本土では禁止になったこの制度は、沖縄ではその後も残りました。やむを得ない犠牲として沖縄を見限った、日本国家の考えそのものと言えます。隔離の犠牲者は人生を奪われ、尊厳を深く傷つけられました。公的な調査や検証は行われていません。「家族の恥」「地域の恥」、ひいては「日本の恥」として闇に葬られてきた歴史です。本当に恥すべきは、隠し続けることではないでしょうか。

この映画は、小さくされ、犠牲を強いられたごく一部の人の話を、あえて見つめる映画です。闇の歴史と向き合うことで、初めて開くことのできる光の地平があると信じるからです。



なぜ、歌っていたのか

10数年にわたって私宅監置されていたある女性は、よく歌っていたと言います。監置小屋の中で、歌を通して、彼女に一筋の救いの光が訪れていたことを願わずにはいられません。

今なお、居場所がなく孤立している精神障害者は大勢いますが、それは私宅監置の過去と地続きです。形を変えた私宅監置は、現在に至る所にあります。過去の過ちを検証し、犠牲者に謝罪し、償う。そこから出発しない限り、日本は永久に確かな未来を開くことはできない…。耳を澄ますと、犠牲者の歌が聞こえてきます。



夜明け前のうた ～消された沖縄の障害者

監督・撮影・編集：原 義和
 制作：高橋年男 山田圭吾 余瀨のお子 ナレーション：宮城さつき
 音楽：白川ミナ 創作舞踊：Danzatakara
 製作協力：沖縄県精神保健福祉協会 沖縄YWCA 製作：障害者映画文化研究所 イメージ・ナタライト
 プロデューサー：中嶋真紀人 配給：新日本映画社 (2019/日本/DCP/37分/5.1ch./97%) ©2019 原 義和
 yoake-uta.com

監督：原 義和 (フリーTVディレクター) Profile

1969年愛知県名古屋生まれ。2005年より沖縄を生活拠点にドキュメンタリー番組の企画制作を行う。東日本大震災の後は福島にも出て取材し、Eテレ「福島をずっと見ているTV」などにディレクターとして参加。

主な制作番組は「戦場のうた～元「慰安婦」の胸痛む現実と歴史」(2013年琉球放送/2014年日本民間放送連盟賞テレビ報道番組最優秀賞)、「インドネシアの戦時性暴力」(2015年7月TBS報道特集・第53回ギャラクシー賞奨励賞)、「Born Again～国家 正子・R・サマーズの人生」(2016年琉球放送/第54回ギャラクシー賞優秀賞)、「消された精神障害者」(2018年EテレハートネットTV/貧困ジャーナリズム賞2018)など。著書に「消された精神障害者」(高文研)、編書に「画家 正子・R・サマーズの生涯」(高文研)。



写真提供：原 義和 映画「夜明け前のうた」より

実際の私宅監置小屋
 保存に向けての運動も始まっている

■この映画を通してー
 沖縄における私宅監置の事実と
 その背景を知ってほしい。
 そして、今後も起こりうる
 人権侵害を繰り返さないために、
 私たちに何ができるかを
 考えるきっかけとしたい。

「夜明け前のうた～消された沖縄の障害者」
 上映会実行委員会

●会場：東京 YWCA 会館 1階 カフマンホール

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11

TEL.03-3293-5456 (当日連絡先)

- JR「御茶ノ水駅」より徒歩 4 分
- 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」B1 出口より徒歩 4 分
- 東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄新宿線・三田線「神保町駅」A5 出口より徒歩 8 分
- 都営地下鉄新宿線「小川町駅」B5 出口より徒歩 8 分
- 東京メトロ丸の内線「御茶ノ水駅」より徒歩 5 分



<企画・実施> むさしの平和チーム 「夜明け前のうた」上映会実行委員会

武蔵野センターで活動する YWCA 会員が中心となり、チームのメンバーとともに平和を考える上映会、講演などのイベント企画・運営を行っています。近年は、沖縄や原発について考えるプログラムを実施しています。

YWCAとは

YWCA (ワイ・ダブリュー・シー・エー/Young Women's Christian Association) は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際 NGO です。

1855 年英国で始まり、今では日本を含む 100 以上の国・地域で活動しています。